# クリーンパーク・臨海『臨海工場』
# 見学コースMAP

## 見学するときのきまり

- **その1**　かならず２階『臨海リサイクルプラザ』受付で受付をして、名札を胸につけてね。
- **その2**　見学場所からはなれて、かってにとびらを開けたりしないでね。
- **その3**　食べたり飲んだり、ごみをすてたりしないでね。
- **その4**　見学がおわったら、名札を受付にかえしてね。
- **その5**　ほかの人のめいわくにならないようにしようね。走ったり、さわいだりしないでね。

## 8. 灰ピット・灰クレーン

ごみは燃やすと20分の1の容積になるんだ。ごみを燃やしたあとの灰は、ここに集められてうめ立て場まで運ばれるんだ。ごみは燃やしてもなくなってしまうわけじゃないんだね。ごみをへらさないと、うめ立てる場所がなくなっちゃうよ。

5階
エレベーター
3階

## 5. 展望ホール

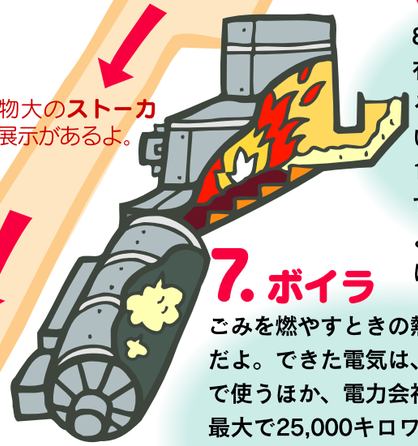
人工衛星からさつえいした福岡市の写真があるよ。ごみを処理するところがどこにあるか、空の上からさがしてみよう。

## 6. 焼却炉

850℃以上のものすごい温度で、有害なダイオキシンもいちころさ。ごみといっしょににおいも燃やしているんだって。1日に300トンのごみを燃やすことができる炉が３つあるよ。ごみは4～5時間で完全に灰になっちゃうよ。

実物大の**ストーカ**の展示があるよ。

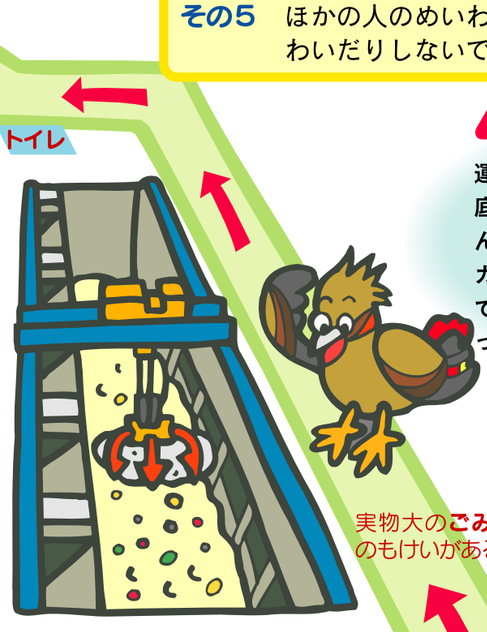




## 7. ボイラ

ごみを燃やすときの熱で発電もしているんだよ。できた電気は、工場内やタラソ福岡※で使うほか、電力会社にも売っているんだ。最大で25,000キロワット、約67,000世帯で使う量の電気ができるんだって。

※**タラソ福岡**　臨海工場でできた電気を使ってあたためた海水の歩行用プールなどで健康づくりをする施設



トイレ

## 4. ごみピット・ごみクレーン

運ばれてきたごみは、まずここにはいるんだ。ピットの底までは約40メートル、13階のビルの高さぐらいあるんだ。たくわえられるごみの量は約2,700トンで、パッカー車約1,200台分。大きな入れ物だけど、福岡市からでるごみをぜんぶここにあつめたら、たったの２日でいっぱいになっちゃうんだって。びっくりだね。

実物大の**ごみクレーン**のもけいがあるよ。

**エレベーター**が5階につくと、反対がわのとびらが開くよ。

5階

## 2. プラットホーム

夜中にみんなの家やお店から出たごみが、パッカー車で運ばれてくるところだよ。1日約300台(700トン)もやってくるんだ。

エレベーター
3階

## 3. パッカー車

ほんもののパッカー車(2トン車)もあるよ。運ばれてくるようすが、ビデオで見られるよ。

世界の**清掃車イロイロ大集合**の写真があるよ

**クイズコーナー**では、ごみ処理についての勉強が楽しくできるよ。

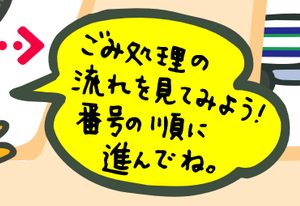
## 1. 工場のしくみ

ボタンをおしてね。これから見学する工場ぜんたいのしくみについて、説明するよ。

工場で使っている材料や計器の**展示コーナー**

ここは**計量棟**。パッカー車は、ここでつんできたごみの重さをはかるんだ。

このわたりろうかの下をパッカー車がとおるんだ。




**3階入り口**

クリーンパーク臨海には**廃棄物試験研究センター**もあるんだよ。センターでは、環境を守るため、ごみや排ガスの検査のほかに、灰などのリサイクルの研究もしてるんだ。

**しき地の広さ**：約97,700平方メートル(おおむね一辺が310メートルの正方形)
**工場の建設費**：約478億円(土地の費用をのぞく)